

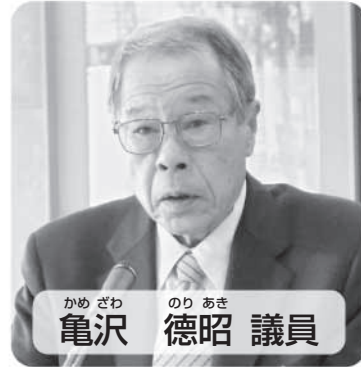
# 一般質問

## 3月 定例会

### 産業振興

#### 「黒潮印」の商品開発は

#### 協働して進めている



かめざわ のりおき 議員  
徳昭

**問** 町の活性化には、1次産業の活性化が重要と考える。第1次黒潮町総合振興計画にある「黒潮印」の商品開発は。

**答** 森下 産業推進室長

「黒潮印」の商品開発は第1次黒潮町総合振興計画のシンボルプロジェクトとして、計画期間平成20年から29年として掲げられている。「黒潮印」の商品は食品だけでなく、観光、歴史、文化、教育、イベント参加、企画販売、コン

サルテイニングなど、黒潮町が外貨を獲得できる可能性のある商品の総称であり、NPO 砂浜美術館と特産協が協働して、「黒潮印」の商品販売を積極的に外販していくためにインターネット販売サイト「すなびてんぼ」の運営を4月から行うべく準備を進めている。運営は、主に形のある商品の特産協が担当し、形のない商品を砂浜美術館が受発注と決済、管理を行う予定をしている。

**問** 「黒潮印」の商標登録はどうなっているか。

**答** 松田 総務課長

「黒潮印」を商標登録しようと考えていたが、先に登録されており、できない事になった。今後の対応を検討中。

いつ迄にどうこうするという事は、現在のところ考えていない。

**問** 「さしすせそ」計画についてその進捗状況を聞く。

**答** 森下 産業推進室長

「さしすせそ」計画は、天然由来の基本調味料である砂糖、塩、酢、醤油、味噌の重要性を見直し、黒潮町で生産されるそれらを使った新たな食品加工品を創出することを目的に、平成22年度に計画を立てたところであり、「さしすせそ」計画に基づき平成23年度、新たに誕生した商品として、黒糖かりんとう、黒糖甘酢漬けラッキョウ、エシヤロットソース、カタクチイワシ、キビナゴの魚醬、天日塩を使った漁師特製干物などがある。また、商工会では、町内50業者と連携して、黒潮町の「さしすせそ」食品を活用した特産品開発事業、全国商工会の補助事業を実施し、その結果各事業者が一品の最終

候補商品を決め、今後の量産化に向け取り組んでいる。このように徐々にではあるが、「黒潮印」の商品開発計画は、進みつつある。また平成24年度予算でブランド認証する委員会の設置、パッケージやイメージデザインの製作を予定している。



さしすせそフェアでサトウキビの生ジュースをしぼる

### 訂正

No.23のTTPは、TPPの誤りでした。お詫びして訂正いたします。